



# 「街が好き 人がすき」 中小企業の発展と、 人びとの豊かな暮らしに貢献する

佐藤徳則 静岡信用金庫 理事長



謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年3月に創立100周年を迎えることができました。永年に亘り当金庫を支えて頂いた皆さまのご高配に厚く御礼申し上げます。

当金庫は、第二次世界大戦後の不況により中小企業の資金難が深刻となる中、「中小企業の発展と人びとの豊かな暮らしへの貢献」を志として1922年設立されました。創業当時は、迅速な資金提供が期待されており、この期待に応えるためには、お客さまの事業内容代表者の考え方や人間性などを深く理解することが必要でした。そのため当金庫は、小回りの利く訪問活動を通じて、お客さまとの豊かなコミュニケーションを大切に参りました。

時代の変遷と共に、迅速な資金提

供だけでなく、経営上の様々な課題などの幅広いニーズへの対応が求められる様になり、当金庫もこれにお応え出来る体制を整えてきました。ロシアによるウクライナ侵攻や、長引くコロナウイルス感染拡大による事業環境の激変等により、エネルギー価格・原材料価格の高騰や人材不足への対応など、様々な経営課題を抱えるお客さまも増加しています。昨年は年間800件を超える経営上の相談にお応えさせて頂きました。

本年も、異業種交流組織「せいしんビジネスクラブ」を通じた経営者の皆さまへの経営情報提供や交流機会の創出、デジタルツールである「せいしんビッグアドバンス」を通じたビジネスマッチング、人材確保、DXや脱炭素など様々な経営上の課題への支援などを通じ、中小企業の発展に貢献して参ります。

最後になりますが、本年が皆さまにとりまして幸多き年でありますようにご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

# 2023年も頭をフル回転

望月重樹 税理士法人羅針盤 代表社員



新年あけましておめでとうございます。

私が税理士試験に合格して、税理士登録してから本年度20年となります。時代は変わりましたが、

会計資料を見ながらブライントタッチで、いかに速く仕訳を入力するかが重要だった時代から、今では「AIOCR」を使って、会計資料をいかに効率よく読み取らせるかという時代になろうとしています。

言い換えると、手作業から、頭を使った作業へのビジネスの転換です。頭を使ったと言えば、2022年は久々に本を執筆しました。

今回執筆したのは、2013年に初版を発行した『開業から1年目までの個人事業・フリーランスの始め方と

手続き・税金(日本実業出版社刊)の改訂版です。消費税のインボイス制度や改正電子帳簿保存法への対応策を新たに盛り込みました。

企画から半年あまり。執筆完了が9月、最終校正が11月、そして、書店の店頭に並んだのが12月。本のタイトルは『最新版・開業から1年目までの個人事業・フリーランスの始め方と手続き・税金(日本実業出版社刊)』。本のデザインもリフレッシュされ、印象もガラリと変わりました。

全国の書店で、この本を手にとった方、いただいたフリーランスの皆様・個人事業主の方々の実務に、少しでもお役に立っていただければ幸いです。

2023年も、頭をフル回転して、何事にも取り組んでいく所存です。本年も、税理士法人羅針盤スタッフ一同、よろしくお願ひ申し上げます。